

## 災害復興 アーカイブ支援業務



5月2日、大船渡市役所3階の復興局の部屋にて、独立行政法人防災科学技術研究所による「岩手県気仙地域における災害復興アーカイブ支援業務」の発会式が行われた。

この事業は、①被災前の映像の収集・編集作業、②被害情報の収集・編集業務、③復興まちづくりの記録業務、以上の業務を推進するものです。

就職先が津波被害にてキャンセルになった今春卒業生4名を雇用し、そのサポート

を防災研は勿論のこと、各界の応援を受けて、巨大津波の教訓を後世に残そうとする事業です。この事業の応援に夢ネット大船渡も一役を担うことにした。

## 大中避難所にて炊き出し

5月2日の炊き出しは、大船渡中学校体育館の避難所でした。

この避難所には現在約170名が避難しているが、昼食には外出中の方もあり約100名の方々にカレーうどんを提供した。



今日は「コープあいち」からも3名の方が合流し、100本の焼き鳥と桜餅を持参した。カレーうどんも美味しかったが、焼き鳥は避難して初めて食べたと好評でした。後始末後、避難所自治会役員と避難所の現状と要望等

について話し合いを持った。

## 下船渡出身の松本さん

東京都葛飾区に住む松本さんご夫婦が、一日中事務所で、写真の修復作業を行った。

自分の出身地の災害だけに、何か協力したいとの気持ちから、連休を利用してお手伝いに飛んで来てくれた。



## 写真ありがとう！ みなさんに感謝

全く、すべて失って、1ヶ月半、時間がある時は、息子と大船渡の街をあてもなく歩き、何か一つでも思い出のあるものはないかと、探しつづけていました。

何か一つ見つける事も出来なくて、諦めていた時、友人から「卒業アルバムが見つかったよ」と。見つかった事もうれしかったけど、知らせてくれた友人に感謝です。ありがとう。

こんなたくさんの写真、アルバムの中から、一つひとつの文字を確認して、手がかりになる物を見つけて、探してくれている皆さんに感謝です。

ボロボロになってしまったアルバムと娘の中学の時の写真、大事にしていきたいと思います。今回の災害で失った者・物もたくさんありますが、人のつながりの大切さを心から感じ、大切なものを見つけ、再確認出来ました。ありがとうございました。 5月3日 大船渡町 中央通 及川美智子



## 大切な場所の清掃



### 5月3日：盛川河川敷

#### 同会場で「炊き出し」

5月3日～5日までの3日間、社協のボランティアセンターの呼びかけに応じて、3日には300人を超える方々が集まり、盛川河川敷のガレキやゴミを拾い集めた。

4日・5日も近くの公園等の清掃を行い、市民に気持ちよく利用してほしいと頑張った。

気仙市民復興連絡会では、5月3日の盛

川河川敷公園の清掃隊へ、温かい炊き出しを行った。昨日に続いて、「コープあいち」からの協力もあり、焼き鳥やカレーうどんを提供した。



### 5月3日北海道の羽幌町から 大船渡中学校へ「炊き出し」



左の写真は、自宅で写真を修復して、塀に置いている写真です。大船渡町字新田